



バケツ1杯1,000円。どれだけ詰められるかな?

邑久町漁業協同組合主催のかきまつりが1月29日、虫明地区の同組合前広場で開かれました。このかきまつりは、毎年恒例となつており、今年も市内外から安価なカキを買いたい求めるお客様でにぎわいました。

売り場は販売開始前から力買いを求める人で長蛇の列。販売開始と同時に一斗缶の殻

付きカキやむきカキは飛びように売れていました。また、漁協婦人部のカキのみそ汁や焼きカキが無料で振る舞われ、おいしそうに口にほおばる家族連れの姿があちこちで見受けられました。



小松教授(右)の話に引き込まれ、男女共同参画について考えたセミナー

魅力は新鮮さと安さ

盛況にかきまつり

瀬戸内市男女共同参画推進の会「さざなみ」主催のいきいきライフアップセミナーが1月27日、牛窓町総合福祉センターで開かれました。セミナーには約40人が出席し、男女共同参画社会について学習。オープニングは邑久町糸操り人形劇団「ちよう・かえる一座」の糸操り人形劇『しらゆきひめ』。その後、小松泰信岡山大学農学部教授の「ともに創ろう家庭と地域」の講演を聴きました。

参加者は、小松教授の体験談を織り交ぜた軽妙な話に引き込まれながら、これから男女共同参画について考えた一日でした。

地域の宝を守れ!

上寺山餘慶寺で防災訓練

1月26日は、文化財防火デー。これ、餘慶寺関係者が放水銃で初期消火。消防隊員や消防団員はてきぱきと機敏な消火活動を展開しました。

訓練終了後、太田英晴消防長は訓練の総評を行い、「もしものときは、今日の訓練を生かし、連携を保ち行動してほしい」と訴えました。



地域の皆さんがあくまで初期消火

男女共同参画を考える

いきいきライフアップセミナー



瀬戸内バルーンフェスティバル実行委員会委員長賞
「晩秋の光と夢」島村咲子さん(長船町磯上)撮影

瀬戸内バルーンフェスティバルコンテストの表彰式が2月2日、ゆうゆう交流館で開かれました。

264点の応募の中から入賞作19点が選ばれ、立岡脩二市長が入賞者に表彰状



推薦「飛行日和」海地和代さん撮影

優秀作品決まる

瀬戸内バルーンフェスティバルコンテスト

と記念品を手渡しました。

バルーンフェスの雰囲気が良く表れないと評価され推薦に輝いた『飛行日和』

を撮影した海地和代さん(67歳・高知県)はカメラ歴15年。「このフェスは近くで撮影でき身近に感じられる。イメージどおりの写真が撮れたが、このような賞をいたくとは……」と謙虚に喜びをかみ締めていました。

入賞者と参加者の皆さんは、展示作品を熱心に鑑賞していました。

なお、入賞作品は3月12日まで、邑久町公民館ロビーに展示しています。皆さんご覧ください。

手に汗握る攻防

長船町囲碁大会

第113回長船町囲碁大会が1月22日、長船町公民館で開かれ、上位入賞は、次の皆さんです。1位 川崎静20人が腕を競いました。碁石を打つ音だけが響く会場。碁盤を挟み、静かな攻防が

2位 岩井清郎さん(長船町長船)、3位 岸野和雄さん(邑久町尾張)。



碁盤を挟み攻防が繰り広げられました

子どもたちは真剣な表情でうどんの生地づくりにチャレンジ

備前地域親子ふれあいフォーラムが2月5日、ゆめトピア長船などで開かれ、約50人の親子が参加しました。親子でうどんを打つて試食、麦踏み、いちご狩り、と内容も盛りださん。そば打ち体験後、「簡単そうだけ、いざやると難しかった。これからは、作る人のことも意識して食べようと思う」と松尾美由貴さん(12歳・牛窓町長浜)。

親子フォーラムでは、食品加工や食の安全確保をテーマに体験発表や意見交換が行われ、親子でふれあいながら学んだ有意義な1日でした。

体験通し食を考える

備前地域親子ふれあいフォーラム



小松教授(右)の話に引き込まれ、男女共同参画について考えたセミナー